

## 「子どもの本棚」委員会選定規準

### 1. 著者(訳者、画家、編者、監修者を含む)

- (1) 著者の経歴については、信頼に足りるか。すでに著作がある著者については、それまでの著作と比較して評価できるか。
- (2) 知識の本については、信頼のおける研究成果や執筆の動機があるか。

### 2. 出版社

本作りに対する姿勢はたしかか。その目的、意図、方針などはどうか。

### 3. 内容

- (1) 著者の意図する読者に適した内容になっているか。
- (2) 子どもの知的、または、情緒的な経験を広げることのできるものであるか。また、子どもの多様な興味やニーズに応えることのできるものであるか。
- (3) 著者の考えが、読者にきちんと伝わるか。
- (4) 作品のテーマや構成が、読者を引きつけ、文学性豊かなものであるか。
- (5) 絵本の場合は、文章と絵の関係がうまく調和しているか。
- (6) 知識の本の場合は正確でわかりやすく、新しい知見が紹介されているか。また、索引や目次が必要かつ十分につけられているか。増補、改訂が適切にされているか。

### 4. 表現

- (1) 読者の発達段階に適した表現を用いているか。
- (2) 子どもの心情を豊かにするよう叙述されているか。
- (3) 文章は明確で、しかも簡潔に書かれているか。
- (4) 漢字、かな使い、ふりがなが適切か。
- (5) 写真、絵画は、美術性をそなえているか。
- (6) 知識の本の場合は、明りょうで正確な写真、絵、グラフ、図表などにより視覚化し、子どもの理解を助けているか。

### 5. 形態

- (1) 紙質、印刷、判型、活字、組版は適切であるか。
- (2) 装丁は適切で、美しく、好ましい印象を与えるか。
- (3) 造本は内容に適したもので、取り扱いやすいか。
- (4) 印刷は鮮明で見やすいか。

## 6. 価格

内容にふさわしく適切か。

## 7. その他

- (1) 古典、翻訳作品については、原文の意味を正確に伝え、理解しやすいか。また、原著の持ち味そのままをあらわし、原著について解説がつけてあるか。
- (2) 民話、神話、伝説については、ストーリーがしっかりしたもので、再話に際し、適切な表現を用いているか。

昭和56年(1981)7月制定

平成8年(1996)7月改定

平成25年(2013)3月改定